

樂樂タムス7月号

《意欲低下からフレイル状態になった

認知症の症例》

法務法人社団 稲葉
〒500-0011-渋谷区代々木二丁目
TEL:03-662-5575 FAX:03-662-5573 E-mail:riyab@yokohamajidai.jp
[ホームページ](http://www.yokohamajidai.jp)[E-mail](mailto:riyab@yokohamajidai.jp)



Facebook

ホームページ

こちらも見てください♪

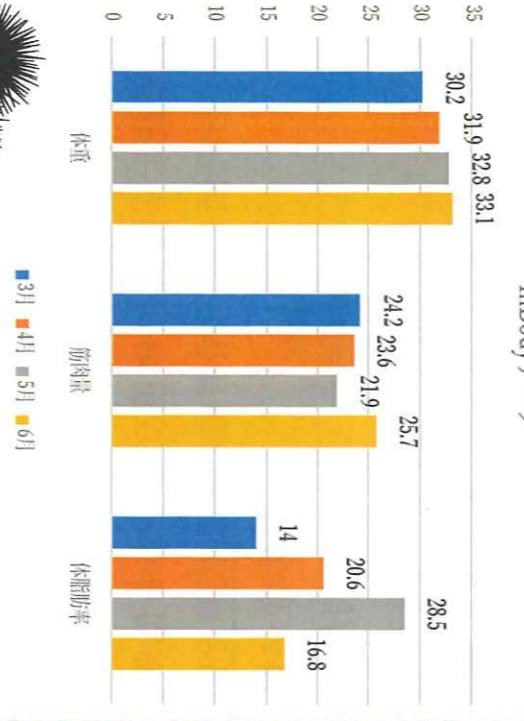
基本情報

年譜・80年代

性別：女性
既往歴：アレルギー性鼻炎、アレルギー性鼻炎

通りハビリを利用してからの経過：R3.9月頃より食欲低下からエソシュア処方されおり、去年の冬から食事が摂れず認知症症状も出現したため入院となった。活動の乏しさやからフレイルと診断され、退院したものの意欲低下もあり、臥床傾向となりADL低下が著明となっていました。認知症の進行予防や廃用からの改善から通所リハビリ開始し、活動量を増やしていくためにR4.3月から週2回当センターご利用となる。

[3]



後、自宅での自発的な行動も増え、意欲向上も見られ、ご家族より『入浴の介助が楽になった』と、自宅での介助量軽減にも繋がっております。まだ、エソシューを処方されますが、活動性の改善が見られたことで食事量が増えてきているとご家族よりお話を頂きました。

目標として「外出して好きな物（ウニ）を食べに行けるようにする」ことを達成できるようにするために、栄養状態の改善と活動量を高め、モチベーションを維持しながら、今後もご自宅で生活を送れるように、リハビリ提供していきます。

グラフから経過を追って体重と筋肉量が増加しており、体脂肪量の減少も見られます。身体機能以外にも食欲増量や活動性が改善してきているとご家族からお話を頂いていることもあります、週2回のリハビリを休まず取り組まれた結果と考えられます。

『モセアーノの未食』（モセアーノの取り組み）『連里と未食の美徳性』

◎ 基本整正による本態の把握 -研究-

状態等を評価し、利用者様の栄養状態を把握します。

がら利用者様に対しての栄



②In Bodyによる筋肉量や体脂肪量の測定

健康的な体を作るには食事のバランスが大切です。

筋肉や脂肪量等のパラメータも数値で可視化し、課題となっている部分の把握を行いやすくなります。

また、経過を比べてみていくことでリハビリ効果を視覚的に見ることができ、モチベーション向上の効果もあります。

ます。その栄養が不足すると、細胞の再生が不十分になり、より強い筋肉などが作れなくなってしまいます。また、疲

労もたまりやすくなってしまい、翌日以降にも倦怠感などを感じやすくなってしまうことがあります。

卷之三

卷之三

A cartoon illustration of a character's arm and face. The character has a large, muscular arm flexing, showing a hairy forearm and a tattooed bicep. The face is a simple, dark oval with a single white eye and a wide, open mouth.



1

筋肉などの細